



全体で8位に入ったJW1x 大門千紗選手（日田林工高校）

2015世界ジュニアレポート (9)

8月8日（土）

W1x #95 8:35 FinalC

HeatでU19のオープンの世界を目にし、RepechageでU19のオープンの世界に覚醒し、そしてこのFinalBに臨みます。

500mまで俄然と飛ばしCRO・BEL・USAを抑えてトップで通過。その後もスピードを落とさず1000mでCROと並んでの2位通過。その後も競り合いながら、1500mではCRO6分5秒、JPN6分7秒、USAとBELが6分9秒と続きます。その後、各クルー一步も譲りません。JPN大門は、Repechage で先を越されたBELの猛追を受けながらも2位でゴール。

素晴らしい成績だと思います。しかし大門選手に対しては「まだ高校2年生」「漕ぎ始めてまだ少し」などという表現を、もう使ってはいけないのでしょうか。FinalBで2位という結果を悔しさとし、日本のRowingの既成概念をドンドン壊していてもらいたいと思います。

1位CRO 8:06.55 2位JPN 8:08.86 3位BEL 8:08.98 4位USA 8:10.53 5位ESP 8:18.70 6位CHI 8:25.93

全体8位

JW4x #104 9:15 FinalB

どの舞台でも怯むことの無いこのクルー。FinalBの舞台でも、その性格は存分に発揮することを期待して、蹴りだしを見送りました。



JW4x Final Bゴール直前 (S吉田麗美香選手(若狭高校)、3田中麻優選手(宇和島水産高校)、2角谷真緒選手(小松明峰高校)、B永井理湖選手(米子東高校))



上：JW1x ゴール直前の様子(大門千紗 (日田林工高校))

下：力を出し切ったJW4x (S吉田麗美香選手(若狭高校)、3田中麻優選手(宇和島水産高校)、2角谷真緒選手(小松明峰高校)、B永井理湖選手(米子東高校))



戦いを終えてユニフォーム交換

500mでは、ARGに4秒の遅れを取って6位の通過。その後、その差は中々縮まらないものの、ラストクォーターでは上位のクルーと遜色ないスピードを出しARGとの差を詰めました。最後は力を出し切った6位でゴールしました。

1位ROU 6:51.11 2位NZL 6:53.97 3位RUS
6:58.16 4位DEN 7:00.07 5位ARG 7:07.05

6位JPN 7:09.82

全体12位

大会終了近く

まだJM8+等のFinalAの残る大会終盤では、既にレースが終了した各国の選手たちがユニフォームを交換するなどにぎやかな雰囲気です。

JPNの選手たちも他国の選手と和気あいあいでした。大会も終わって一旦ホテルに戻りましたが、ClosingCeremonyに参加するためにコースに戻ったJPN選手たち。とはいえ、ClosingCeremonyはどちらかというと、大会を支えてくれたボランティアの皆さんのご苦労さん会的要素が強いものです。果たして、そのCeremonyに積極的に参加したのはJPNのみ。もちろんボランティアの方々からは大歓迎を受け、即席の「サンバ講習会」を受けるなどしたようです。

いいぞJPN。

これまでの暖かいご声援、誠にありがとうございました。
選手たちは、その声に後押しされて、
立派に戦いました。今後も応援のほど、よろしく
お願いいたします。



ご声援ありがとうございました！